



平成17年度一般会計予算起立多数で可決

# 平成17年度 予算の概要

今定例会に、平成一七年度一般会計予算と特別会計予算を合わせて三三億三八八万三〇〇〇円が提出され、予算審査特別委員会、総務文教委員会、建設環境委員会、市民厚生委員会において通算六日間にわたり慎重に審査され、それぞれ原案のとおり可決されました。

問 市税の収納率の見

収納率の設定  
基本的考え方

平成一七年度一般会計予算は前年度に比較して七・二％減であり、生活保護費や児童手当等扶助費が増大する一方、市税の減収見込みで厳しい財政運営を迫られている。歳出では、福生病院の建設費負担金、新庁舎建設、拝島駅自由通路整備や第三中学校ランチルーム整備事業費等を計上し

ているが、少子高齢化の進行に伴い社会保障制度の運営がより困難となる厳しい時代が予想される。後年度に負担を残さないよう、臨時財政対策債の借入れや財政調整基金の取崩しは最小限に抑え、歳入に見合う予算規模を目指して新たに枠配分方式を段階的に導入して編成している。

問 枠配分方式による  
予算編成は

枠配分方式による  
予算編成は

一般会計予算の審査から

平成一七年度一般会計予算は前年度に比較して七・二％減であり、生活保護費や児童手当等扶助費が増大する一方、市税の減収見込みで厳しい財政運営を迫られている。歳出では、福生病院の建設費負担金、新庁舎建設、拝島駅自由通路整備や第三中学校ランチルーム整備事業費等を計上し

問 三位一体改革  
影響額は

三位一体改革  
影響額は

答 計画初年度の一七年度は従来の需用費、役員費等の限られた範囲から経常的な委託料、工事費等まで対象を広げ、各課に裁量権を一部ゆだね、一律三％削減で臨んだ。最終的には対象経費を広げ部への枠配分を目指す

問 三位一体の改革に伴う影響額が資料では増収四〇〇〇万円となっているが、今回の場合はプラスとして楽観的に理解しているのか。一六年度はどうだったか、また一八年度の予想はどうか。

答 一六年度は大幅減収でマイナスの予測だったが、一七年度は新たに削減されるものと暫定的

に創設された所得譲与税の増収分との相殺でプラスになる見込みである。一八年度以降人口比例ではなく税源が配分されるので担税力の大小が大部分影響し、見通しは非常に厳しく、悲観的である。

問 まちづくりフォーラム  
コーディネーターの人は

答 各課で都市景観、環境等それぞれの目的に沿ったフォーラムを一六年度は開催してきたが、今後もそのように進め、また、一七年度は横田基地周辺まちづくりについても基地内の方々のフォーラムも考えている。人選等については、共にフォーラムをつくらせていくということなので、可能である。

問 老人保健医療繰出金  
増額の理由と見直しは

老人保健医療繰出金  
増額の理由と見直しは

答 平成一四年一〇月に制度改正があり、五年間で支払基金交付金と公費負担の国、都、市の負担割合を五〇％対五〇％に合わせるため毎年四％ずつ公費負担分をふやすもので、市では繰出金として増額しているものである。

問 西多摩衛生組合負担金  
増額の理由と稼働率は

答 西多摩衛生組合負担金が昨年度と比べて増額となっているが、一七年度は事務職員の減により減額したとのことだったので、どのように環境が変わったのか。また予算編成時の焼却炉の稼働率を伺いたい。

答 一八年度から焼却灰のエコセメント化事業が開始され、二億五〇〇〇万円の事業費のうち五〇〇〇万円程度が負担金となること、また一五年度は事業系ごみ搬入量の増により構成率が一ポイント増加したため増額となっている。焼却炉の稼働率は、常時一基は休止している。

問 第六小学校の  
ピオトープは

答 第六小学校では雨水を使い電気は風力発電によるピオトープという池のようなものをロータリークラブが造るとい

問 アメリカシロヒトリ  
防除計画の変更内容は

アメリカシロヒトリ  
防除計画の変更内容は

答 一六年度まではシルバー人材センターへ委託して、通学路の沿道の方から申し込みがあった場合や、市内を週三日巡回してアメリカシロヒトリ

ことが、その内容は、答 第六小学校では現在福生中央ロータリークラブから寄贈をいただき、ピオトープの池を造っている。雨水を利用し風力発電による動力で池の水を循環させるもので、完成後には池に虫の幼虫を放し、夏には虫を飛ばしたいとのことである。

問 南公園内池設置工  
水路の距離は

南公園内池設置工  
水路の距離は

答 どうぞう滝の水をパイプで下の川を横断させ、南公園の下の川に面した空き地に水を引き、じゃぶじゃぶ池を設置するが、池は約一五〇平米のひょうたん形で、流れ込む水路は幅が約一・八メートル、長さ二〇メートル、池から出た水路は幅が一・二メートル、長さ約一六メートルで、再度下の川に水が落ちていく構造である。

平成17年度 各会計予算規模 (人口 174.1現在 61,639人)

会計区分	17年度	前年度比%	市民1人当たりの額
一般会計	205億1,800万0千円	-7.2	33万2,873円
特別会計			
国民健康保険特別会計	47億8,181万4千円	3.7	7万7,578円
老人保健医療特別会計	32億7,375万3千円	-2.8	5万3,112円
介護保険特別会計	22億8,137万8千円	13.7	3万7,012円
下水道事業会計	21億1,644万7千円	4.5	3万4,336円
受託水道事業会計	4億6,729万1千円	-32.2	7,581円
総合計	334億3,868万3千円	-3.9	54万2,492円

平成17年度 一般会計予算の款別内訳 ( )内の数字は合計に占める割合

